

社 報



勝てないプロゴルファー

角締め金物試験失敗

7月24日、日本建築総合試験所にて、角締め金物の強度試験を実施しました。

試験は失敗に終わりましたが、今回の失敗は試験方法の失敗であり、金物そのものに問題があったわけではありません。が、問題がなかったわけでもありません。

今だに未知数です。



失敗は成功の始まり？
成功するまでやり続けられね！



今年のゴルフシーズンが始まってから、女子プロトーナメントで6週連続で日本人選手が勝てず、外国人に優勝をさらわれる事態になっていました。その事態について、あるゴルフ解説者の話です。

外国選手はプレーに対してものすごくハングリーで熱心である。ゴルフを追求することでしか、自分の夢がつかめないことを知っている。ゴルフツアーでの予想優勝スコアについて聞くと、日本選手は「-10」とか、「-12」とか、優勝できそうなスコアを答えるが、外国選手は「-20」など、普通では絶対に無いようなスコアを自身の目標スコアとして出してくる。この差が優勝できるか、出来ないかの差になるのだ。……と。

なるほど、と思いました。振り返って、今の話を会社の話として、考えても同じであると思うのです。

建設業界も長く苦しい不況で、それぞれの会社が存続をかけて努力を続けています。

しかし、その頑張り方は、同業他社を見て、比較優位の中で、ある程度の

地位を確保できれば良いと考えていないでしょうか。

ゴルフなら、周りの選手のスコアが気になり、優勝よりも、誰よりはここが良かったとか、ここを修正すれば、次はなんとかかなるとか。

こうした比較優位の話ばかりをしていると、本来の目標、「優勝」から視線がはずれだします。元々、優勝は簡単ではないのですから、一度、はずれだすと、もう優勝を狙う位置に戻ることではできなくなると思うのです。

企業も同じで、本来の企業としてのあり方で、革新・チャレンジを続けないと比較優位論者になってしまいます。

またそうした会社では、働く人達も、周囲の様子を見て、先頭に立つことを嫌い、苦勞を避けて、人間の能力に枠を設けている場合が多いように思います。

人間として生きる姿を見た時に、孤独なトッププロはカッコいいです。

社報100号を迎えました



当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

熱中症がピークの季節に

本格的な夏を迎えて、テレビでも、毎日のように、熱中症に注意しましょうと呼びかけられています。

建設現場は、屋外・直射日光の下での作業ですから、その辛さは並大抵ではありません。

食事でも喉を通らなくなりますが、それでも食べなければバテてしまいます。

職人さんの体はタフだと思います。しかし、そのタフな職人さんも、自分は大丈夫と過信をすれば、熱中症になってしまいます。

水分の強制補給が有効らしいので、仕事の合間に、喉が渇く前に水分を補給して、熱中症を防止しましょう。暑い中をご苦勞様です。m(-_-)m

2012年 安全成績

■現場災害 H24.1.1-H24.7.31

休業災害	-----	0
不休災害	-----	2
物損災害	-----	0
その他	-----	0
合計	-----	2

■交通災害 H24.1.1-H24.7.31

人身災害	-----	0
物損災害	-----	1
合計	-----	1